

平成27年6月14日  
今週のベストショット



青松園A 新町パイレーツ 対 三苦フレンズ戦

2点差を追っての最終回、逆転サヨナラのホームを踏んだ三苦フレンズ生野猛選手（左）と殊勲のサヨナラ打を放った寺山選手（右）。

写真：三苦ホーネッツ 永島貴文

奈多グラウンド フェニックス終盤に鮮やかな逆転勝利！

レッドサンデーズ（0勝4敗0分）4 0 0 0 0 0 4 江口●ー荒口

奈多フェニックス（2勝1敗1分）2 0 0 1 2 X 5 松本、今林（勇）○ー実延（新）

HR：八島（レッド） 3BH：実延（新）、沖（奈多フ） 2BH：江口（レッド）、今林（英）（奈多フ）

今シーズン、まだ勝ち星のないレッドサンデーズは初回先頭の江口選手がレフト線へ二塁打を放つと、続く砂場選手は相手のフィルダースチョイスを誘い無死一三塁のチャンス。ここで三番神田選手の中前打で1点を先制すると四番八島選手の当りはショートを掠める打球が左中間を抜ける3ランHRとなり初回到4点を先制する幸先の良いスタート。しかし、フェニックスもすかさずその裏、先頭の西藤選手が二塁打を放つと続く福島選手はバンド安打で無死一三塁。三番今林勇太選手のセカンドゴロの間に1点返すと六番実延（新）選手のライト前ヒットで2点目を返し追撃。その後、レッド江口投手は二、三回を三者凡退に押さえ、このまま逃げ切りに入るかと思われたが、フェニックスは四回裏、一死から実延（新）選手が右中間を破る三塁打を放つと続く安藤選手のセンターフライで生還し1点差に迫る。そしてフェニックスは五回裏、先頭の九番沖選手が右中間三塁打を放つとサードへの送球が逸れる間に一気にホームインし同点。続く一番西藤選手がレフト前のヒットで出ると、二死一二塁から五番今林英二選手がセンターへ二塁打を放ち遂に逆転。反撃したいレッドサンデーズは、四回から登板したフェニックス二番手今林勇太投手にノーヒットに抑えられ、先制した4点を守りきれずに初勝利を逃した。（記事、写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎）



試合後清掃が行われるため6 : 4 5 プレイボール。



フェニックス先発は新人の松本投手。



一回表、先頭で二塁打を放つレッド江口選手。



一回表、先制の中前打を放つレッド三番神田選手。



左中間を抜ける3ランHRで生還するレッド四番八島選手。



一回表3ランHRを放ち歓喜の八島選手。



一回表、ピッチャーゴロを捌くフェニックス松本投手。



一回表、ゴロを捌くフェニックス西藤三塁手。



レッドサンデーズ先発の江口投手。



一回裏、セカンドゴロを捌くレッド吉岐二塁手。



レフトフライを慎重に捕るレッド神田左翼手。



一回裏、バントで揺さぶるフェニックス福島選手。



一回裏、右前適時打で追上げるフェニックス実延（新）選手。



三回裏、ファインプレーのレッド河原中堅守。



四回から好リリーフしたフェニックス今林勇太投手。



四回裏、中越えの三塁打を放つフェニックス実延(新)選手。



五回裏、同点のホームインしたフェニックス沖選手。



五回裏、勝ち越し二塁打を放つフェニックス今林英二選手。



奈多グラウンド草刈状況。



草刈に励む今林辰也WSL副会長。

### 青松園A 三苦フレンズがサヨナラ勝ちで好調パイレーツを制す！

新町パイレーツ (3勝1敗) 200001 3 吉田●一桐島、大濱

三苦フレンズ (2勝2敗) 000103× 4 生野(拓)○一佐藤

**3BH** : 寺山 (三苦フ) **2BH** : 佐藤 (三苦フ) **盗塁** : 八坂 (新町パ) 生野 (拓) (三苦フ)

新町パイレーツは一回表、三苦フレンズ生野(拓)投手の立ち上がりを攻め、二番八坂選手、三番白岩選手の連続安打等でチャンスを広げ2点を先制した。二回表もパイレーツの攻撃の手は緩まず、一死から七番本堂選手が中堅前安打、続く八番、九番と連続四球で一死満塁とするが、今日のフレンズ守備陣はここからが堅守で、一番桐島選手の当たりを山口遊撃手が捕殺、二番八坂選手の右翼前の当たりを寺山右翼手の好返球により一塁でアウトにし、この回無失点で切り抜けた。このプレーで試合の流れが変わったのか、その後は両投手の力投と好守で一進一退の試合展開となった。反撃したいフレンズは、四回裏先頭の三番生野(拓)選手が四球を選び、すかさず盗塁を決めチャンスとし、五番佐藤選手の左翼線への二塁打で1点差とした。最終回、追加点が欲しいパイレーツは、3四球で一死満塁とし、九番砂田選手の右翼前の当たりを、フレンズ寺山右翼手がこの日2度目の一塁アウトの間に1点を追加した。その裏2点を追うフレンズは、先頭の二番福山選手の中堅前安打等で二死二三塁とし、1打出れば同点という大事な場面で、六番生野(猛)選手へと打席が回る。この日好投している息子を何とかしてやりたい親父の意地の一撃が2点タイムリーとなり、ついに同点！この時点で負けが無くなり、リラックスできたのか、続く七番寺山選手が放った一打は右翼越三塁打！この一打がサヨナラ決勝打となり大逆転でフレンズが勝利した。(記事、写真：三苦ホーネッツ 永島貴文)



堅守でピンチを何度も防いだ、フレンズ山口遊撃手。



二回表、右ゴロアウトで追加点を防いだフレンズ寺山右翼手。



軽快な守備を魅せるパイレーツ白岩二塁手。



四回裏、抜ければ同点のあたりを好守で防いだ砂田左翼手。



六回表、力投で三振に取るフレンズ生野(拓)投手。



最終回、決勝打を放つフレンズ寺山選手。



サヨナラ決勝打を放ち笑顔のフレンズ寺山選手。



勝利のV、二宮選手、亀井監督、寺山選手、生野(猛)選手。

## 青松園B 親子バッテリーあと一步届かず！

新町ウインズ (2勝1敗) 3 0 0 0 1 0 0 4 藤田○ー今林

ブルーマーリンズ (0勝4敗) 0 3 0 0 0 0 0 3 横山(祥) ●ー横山(健)

2BH: 安藤、今林(新町ウ)、横山(祥)(ブルー) 盗塁: 永淵(新町ウ、三上、桑野(ブルー))

好投手藤田投手を擁する新町ウインズと今季から横山親子バッテリーで奮戦しているブルーマーリンズの戦。初回ウインズの攻撃、ブルーマーリンズ横山投手の不安定な立上がりやを攻め四球で出た2人のランナーを、三番今林選手の二塁打と藤田選手の内野安打で返し2点を先制！その後ワイルドピッチもあり1点追加！ウインズ藤田投手にとっては十分な先制点に思えたが、二回裏ブルーマーリンズの攻撃、四番桑野選手のヒットと続く五番横山(健)選手死球でランナー二塁とし、六番三上選手のピッチャー横をすり抜ける絶妙なセフティーバント！ウインズのまずい守備もあり、二塁ランナーが生還し1点を取り返す。なおも無死二三塁から犠打と八番井手選手のヒットとまたもウインズの守備の乱れで2点を追加！同点に迫いつき盛り上がるブルーマーリンズベンチ！序盤から点の取合いとなったが、三回以降両投手が安定し五回まで0が続く。迎えた六回ブルーマーリンズ横山投手疲れが出たのか、五番桐島選手を四球で出すと、そこからパスボールとワイルドピッチで無死三塁！六番泉(圭)選手のサードゴロで送球の間に俊足桐島選手が生還し、遂に勝ち越しに成功！六、七回ブルーマーリンズはヒットでランナーを出すも、後続を抑えられゲームセット！ブルーマーリンズ打線は8安打放ったものの藤田投手の要所での見事なピッチングにあと一本が出なかった。(記事、写真: 奈多サンデーズ 田中孝幹)



ブルーマーリンズ横山(祥)投手。



好投手、新町ウインズ藤田投手。



先制され円陣を組むブルーマーリンズベンチ。



見応えのあったエースと四番の対決。



フェアでしょう！！猛抗議の小柳監督。



残念がる小柳監督「もう少しだったのに・・・」



ナイスゲーム！お疲れ様でした！



足で貢献した桐島司選手と今林孝智捕手。

### 雁レク軟式6 エースの貫禄！三球会に土。

雁ノ巣ライナーズ（3勝1敗）0020111 5 有馬○—中道

三苦三球会 （3勝1敗）1200000 3 吉留●—藤澤

HR：久保田（雁ノ巣）3BH：明瀬（航）（雁ノ巣）2BH：渡辺（三球会）

雁ノ巣ライナーズは、初回先頭の明瀬旭選手が初球をいきなりセーフティーバントで出塁する。しかし、二番明瀬航選手の初球に盗塁を試みるもタッチアウト。これで流れが反転し、その裏ノーヒットながらエラーと四球で1点を先制されてしまう。勢いに乗る三球会は、続く二回にも敵失と内野安打、更に九番渡辺選手の二塁打で2点を加え、試合序盤を有利に進める。安打は出るものの得点に結びつかないライナーズは三回表、敵失と内野安打2本で2点を返す。すると、ゆっくりと流れが反転しはじめ、五回表に先頭の明瀬旭選手が猛打賞となるレフト前で出塁すると、犠打バントで進塁、三番中口選手のタイムリーと理想的な展開で同点に追いついてしまう。すっかり勢いの出たライナーズは、六回表には明瀬航選手の三塁打で勝ち越しにも成功する。三球会ベンチも時間をにらみながら七回裏の攻撃に懸けるベンチワークを見せるが、最終回、ライナーズ四番久保田選手の本塁打が飛び出し追撃の機運を断たれた。笑顔でVサインの岩崎監督会心の勝利となった。

（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺、写真：橋村）



両チーム挨拶。



三球会エースの吉留投手。



力投するライナース先発の有馬投手。



三球会の攻守の要、藤澤選手。



六回表、代打で最後までボールを見つめる池内（父）選手。



七回表、ライナース四番久保田選手の本塁打。



勝利の岩崎監督と久保田選手。



## 第7週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第7週、6月14日は4試合が行われました。

奈多グラウンドのレッドサンデーズ対奈多フェニックス戦は、未だ勝ち星のないレッドサンデーズが、今期初先発のフェニックス松本投手から一番江口選手がチェンジアップをうまく二塁打とすると、三番神田選手の先制タイムリー、四番八島選手の3ランで早々に4点を奪ったが、得点シーンはこの回のみ。昨季逆転で敗れているフェニックスはギリギリと加点すると、五回裏九番沖選手が右中間三塁打+暴投で遂に同点。そして五番今林英二選手のタイムリーで逆転。途中リリーフしたフェニックス今林勇太投手はライズボールを駆使してレッド打線に1安打も与えずフェニックスが4-5で勝利。レッドは三、四回の満塁のチャンスを活かせず泥沼の四連敗。

青松園Aの新町パイレーツ対三苦フレンズ戦は、開幕から3連勝中の好調パイレーツが勢いそのままに2点を先制する。しかし、守備が頑張るフレンズは四回裏、五番佐藤選手のタイムリー二塁打で1点差。しかし最終六回に無安打で1点を献上してしまうが、ここで気落ちせず最終回の攻撃に希望を託す。無死一二塁とするも頼みの四番、五番が打ち取られ、万事休すと思いきや、六番生野猛選手がやってくれました、レフト前同点タイムリー！さらにこの試合のラッキーボーイ七番寺山選手が値一億金の逆転サヨナラタイムリー！若手とベテランがうまく連動した今年のフレンズの勢いを見せつける試合は3-4×でフレンズが勝率を5割に戻した。ベテラン勢の笑顔の写真がいいですね。

青松園Bの新町ウインズ対ブルーマーリンズ戦は、初回連続四球から三番今林孝智選手、四番藤田選手の連続タイムリー等で3点を先制したウインズだったが、二回裏3安打を放ったBマーリンズが追いつく。ここから1点を巡る攻防が繰り広げられたが、六回表ウインズは、四球で出塁の桐島選手を代打八田選手のタイムリーで返し、遂に勝ち越し。このリードをウインズエース藤田投手が調子が悪いなりに守りきり4-3でウインズ勝利。Bマーリンズはウインズの倍の8安打を放ったが、藤田投手に喫した9三振が尾を引いた。

雁レク6の雁ノ巣ライナーズ対三苦三球会戦は、こちらも3連勝中の三球会が好調ぶりを発揮して、早々と3点リードするも、単打で繋ぐライナーズ打線が三回表に2点、五回に1点を挙げ同点とすると、六回表に一番明瀬旭（兄）選手が四球で出ると二番明瀬航（弟）選手が左中間へ三塁打として逆転。最終七回表には四番久保田選手がHRを放ち追加点。大技小技を駆使したライナーズ打線が三球会吉留投手から14安打を放ち、逆転勝利。

四試合共に接戦で、見ている方もやっている方も一瞬たりとも気を抜けない好ゲームでした。勝利も敗北も紙一重。WSL全体がレベルアップしていることを感じました。

そんな中でいまだ勝利がない（0勝4敗）レッドサンデーズ、ソルトベイスターズ、塩浜ジャガーズ、ブルーマーリンズは、早く抜け出したいところ。

全勝が奈多サンデーズ（4勝）だけとなって、強い高気圧に押されることなく停滞している梅雨前線のように、今の順位を受け入れることなく、自分が強い高気圧（晴れ男）となってじめじめした重い空気を振り払い、夏の主演になりましょう！

もしくは逆に台風の日になるのもいいかも。